

昭徳院實紀

文久三年癸亥
正月

三一

和書門類	四七〇八號	一四三函	六七冊
------	-------	------	-----

內閣文庫	和書類	四七〇八號	一四三函
------	-----	-------	------

內閣文庫	番號	和 44708
	冊數	67 (31)
	函號	149 26

共六十七冊





文久三年正月

朔日

市表 出市

二日

今已上刻學表 出市山坊年出札書

三日 前同 有出系馬始

一 今已上刻學表 出市山坊年出札書

町振之

海防部 結存

同日

出馬 所召幼舟等

同日

同日 舟等

同日

曲本仙之助

同日

大武後助

妻重兵衛格向

五日 輪討 上使。松平春嶽出軍艦洋備

上京令

浪舟格
老物以格

吹上新門

上使松平美濃守

若出船

以目付

松平春嶽候今夜上京令 作舟出軍艦拜

借大坂迄在哉夫上京致 以出言柄殊心

速出之書加容易質事と之と致 迄る

格印之省略候舟道中筋手外終る事端

手控取申道橋等一切取繕不及取走事

候事控文並用候 宿陣事外終る平日之如

一雪隠舟等同出船候事と致す

相心得清事一筆一筆と手教お前下と後取不取成極

取中下下

右と左と取上系した助と嚴表と中付共

右と通及申さり出給之業の取中下と取上助

願分知り者之面とては業

出目付

是と出之手持出取の月吹と新出

取中下切大敷取出取 作付と取中取

下杉林取出

以米梅林取出高の指紐より出入

米取出

以米又切紐取出下取より出入

高取高の取中取取中取取中取取中取取中取

僧侶出礼

六日

輪藻

度

場所

夜松平豊

松平町波

所名 出所

寺社 出礼

録字板

夜松平豊

古出...

四月

陸軍...

陸軍...

場...

...

...

...

場...

...

...

...

場...

...

...

...

場...

...

...

...

場...

上野紀行

上野紀行

上野紀行

上野紀行 上野紀行

上野紀行

上野紀行

上野紀行

上野紀行

上野紀行

上野紀行

上野紀行

上野紀行

上野紀行

上野紀行

七日 上野紀行

上野紀行

上野紀行

上野紀行

春

一 今已上別出書 出所此係年若兼此乳也

伊勢所産

伊勢所産

伊勢所産

伊勢所産

右 乾出物 伊目入

但 有能ある 於羽目より河内より出所之類

伊勢所産

伊田上総介

伊勢所産

伊勢所産

伊目入

杉平用變

右 伊目入 出懇

上 意者

田人

云 方極文式 出所業者 意者 出所 伊目入

左 出所 伊目入 出所 伊目入 出所 伊目入

出所 伊目入

出所
右

日

善治の長崎の長崎

作

一銀

所より二枚
所より一枚
所より一枚
所より一枚

銀

出所

出所

松平 町波

日

松平 善治

日

松平 伊藤

日

松平 之助

出所

松田 織

右取在長崎
之出所

神保山城

右より 入所

出所

出所

山月十日

同日十七日

同日廿四日

右より

所より

右より

八日上野 西代河 松平露臺 御所物
一 今朝上野

嚴有院極

後明院極

溫恭院極

板倉周防守系極

御所

御靈前古宿 御所

松平容堂

御所

伏見

古御所

上三宮 御所

九日 櫻政日光院 松平露臺改革之令

御所

松平露臺

御所
御所
御所

大目付

今日及夜極改革之役之者之切也

勅使英 所祈

所使法以事之至張慶平自長袴若用若法之

至形可也

禁理附慶平目事上下若用上級自侍

奏況事由由被被使也事の中級就事今夜

所上法有也信事の上事之面市有以上事の時事

身慶平自長袴若用上級之下事之上下事

形多振沙少袖事袴也事の上事之面市有以上事の時事

之上下事之上下事之上下事之上下事之上下事

之上下事

要見
一 於此書中
上 卷下 伊達子
伊達子

今日及夜極改革之役之者之切也

所祈

去職
嚴者
文恭
伊達子

所之三

所之二

所之一

所之四

所之五

清觀院極

所之六

所之七

所之八

所之九

所之十

所之十一

入所之後通治因格

布衣之士

出後殿

秋元但馬守

永升北

石川善德

所之三

所作

所書院

心使

夏合

大表令其仰

三力真之仰

中表

助其仰

出性

母為其仰

急田之仰

方之仰

周保其仰

松尚其仰

久之保大助

學書

羽其仰

其在為其仰

松平頌其助

其在為其仰

仙石治其助

右於 所為 仰其

柳堂の御會

朝河

雲井さきり葉道は雲のねりも 昌句

三浦路のうらみか 幸内大徳殿

頭つぬ波おにやうもはけらる 昌故

此のうらみか

増すのうらみ

十二日

出返書

佛葉をさしりては後を尋

加忠海所物

柳上落用

奥付
増すの
柳堂の
御會の
御名代も死にた

柳堂問

さ社(り)

大徳殿

公井大徳

松平と縁か

此のうらみ
御名代も

中内下地

佛堂西葉の御名代も御名代も御名代も

松平と縁か

御名代も

此のうらみ
御名代も
内 山七

日經より
島田氏の書

古於 伊予の事 作す

増す
列位に書

佛宗西の事 西國の事 為す
控列書す

伊予の事

窪田の事

伊予の事

伊予の事

伊予の事

窪田の事

伊予の事

伊予の事

伊予の事

伊予の事

十二日 家相續入

伊予の事
伊予の事
伊予の事

伊予の事
伊予の事
伊予の事

大正
神戶
...

古歌之趣之... 神戶... 作日...

十四日 漢武所製術... 所上落之節

出供方之...

漢武所製術

松平王... 松平王...

漢武所製術... 引...

以朋射

所上落... 先... 石... 自... 但...

右之也此供之圖...
右之也此供之圖...
右之也此供之圖...

十日 侍表出門 禮對立 相續之也

初之 物對立 古院無祝年如之也

○山王 侍表 加忠之 侍上落之也 侍軍艦之侍上落之也

侍上落之也 侍上落之也 侍上落之也

侍上落之也 侍上落之也 侍上落之也

一 今已上刻侍表 出侍

侍白書院

侍上落之也 侍上落之也 侍上落之也

侍上落之也

宗 侍上落之也

相續之也

相續之也

侍上落之也

侍上落之也

侍上落之也

侍上落之也

侍上落之也 侍上落之也 侍上落之也

侍上落之也 侍上落之也 侍上落之也

一 糸

二 糸

三 糸

四 糸

五 糸

糸

朽木伊豫子

年以迄礼
智忠院大徳心

上 音 子

山王列面

観音院権僧心

山王列面

観音院権僧心

権僧権僧心

山王院

日

一 糸

二 糸

三 糸

日

山王列面

観音院権僧心

山王列面

観音院権僧心

山王列面

観音院権僧心

山王列面

観音院権僧心

山王列面

観音院権僧心

山王列面

日
一 寺

日
日
日
日

是後寺化

日
北川
大衆院

日
海分
法見寺

日
是村
學子授

日
海分
海分寺

日
甲名
寺

日
是村

日
海分
海分寺

日
南
金剛寺

日
寺

日
寺
寺

日
寺
寺

日
寺
寺

日
寺
寺

日
寺
寺

日
寺
寺

古於 市方多 作分

薄或山以反
北條乃之盛

市二百倍之

水皆之

市上落之

以自射

市軍艦

市上落之

山王 伊勢
市方 伊勢
市方 伊勢
市方 伊勢

二月四日限

市上落之

以自射

市上落之

市上落之

市上落之

市上落之

在國在邑之

滋慶に元礼を裁り給て候也

一 在府に面し且出陣を以て其方石を以て以て面し

お進み候也 城に為る中へ酒を統へて其方

に酒氣知ら給指し面し出陣の月夜に其方

使より其方候也

一 沙在市中に休むる上あり面し出陣の外平日に際

所城に其方不及朝より其方出陣に其方候也

其方候に其方候也

其方候に其方候也

其方候に其方候也

十六日 田安殿 所宮指し候

其方候に其方候也

明十七日 所宮指し候 是所以後田安殿

其方候に其方候也

其方候に其方候也

十七日 紅葉心 清指

一 今辰上別紅葉心

清宮 清宮指原中身之程 長清心

子信和 清宮

十八日 紀伊殿書信札清使 後附清使代志傳令

田安殿書信位三手之拜見。諸組子之抱之より恩

于他之令 出軍故之紙之出之者後之紙之令

委見

清宮 在四羽

清宮 源長子

子信和 在名

田安殿書信位三手之拜見。諸組子之抱之より恩
于他之令 出軍故之紙之出之者後之紙之令

清使板名月房也

紀伊中納之殿

若山參嬬お海宮之紙收今相之也

清宮中納代

酒井之儀也

後府之門紙之符之令之令之令之令之令之令

御身

清宮 井上河國也

田安大納言殿

△要見
夜 周防
浪を敷 紀伊物之殿
老翁五 日月人
三行二の七 水篇中

古紙を寄置位に寄出輝良出臨指
行出西船科十方石出揚子寄子代殿と
五 行書

世目付

信組の抱えあり同心共出成安子附子代
志配居りあり家目指と疾ふ知を寄り力分と
三 振込に寄り寄り不毎利と教にお交りた指と寄り首

古紙を寄置位に寄出輝良出臨指
三行二の七 水篇中

世目付

古紙を寄置位に寄出輝良出臨指
三行二の七 水篇中

信組の抱えあり同心共出成安子附子代
志配居りあり家目指と疾ふ知を寄り力分と
三 振込に寄り寄り不毎利と教にお交りた指と寄り首

右に報組の寄り附子代寄りた指と寄り首

右に報組の寄り附子代寄りた指と寄り首

世目付

- 一 此度出軍後去儀に寄り寄りた指と寄り首 行出の上落
- 一 收納に寄り寄りた指と寄り首 行出の上落
- 一 貴お減あら自己に寄り寄りた指と寄り首

一 敬事天皇及皇太后
斗之儀年中一萬石出役
及人之數減省下
令極之敬事

一 冠婚喪祭之人事
及之方事
事

一 出役之方事

一 出役之方事

一 出役之方事

一 出役之方事

一 此後有子孫附由種物編造其世世減亡人

一 喜子亦娘之在命世世成不取海法者

以某婦之有欲成未成也其福也也

吃尔此海法之世世一命事

一 素女亦娘之命世世今世一命事也

本有傷之海法也其命事亦亦然也

忘用之不及康也其命事亦亦然也

一 此亦其命事也

者之報也其命事也

但亦其命事也其命事也

其命事

此圖附

田安之類之數也其命事也其命事也

此亦其命事也其命事也其命事也

思古以存之為部止之也 仰進令度出於之無出者位
一為心辨是之度在 仰使由以隨指之度也
之也 仰出是之度者指之石德門者之代也
之也 仰出之度者指之向也

此有付
此有付

仰上指有法然細未淨後止之再調物也 仰出也
取指之向也 仰出也 仰出也 仰出也 仰出也
仰出也 仰出也 仰出也 仰出也 仰出也

仰出也 仰出也 仰出也 仰出也 仰出也
仰出也 仰出也 仰出也 仰出也 仰出也

大目付
大目付

今般軍艦

仰上指也 仰出也 仰出也 仰出也 仰出也
仰出也 仰出也 仰出也 仰出也 仰出也
仰出也 仰出也 仰出也 仰出也 仰出也
仰出也 仰出也 仰出也 仰出也 仰出也

此等事... 人... 減... 向... 辰... 大
月... 分... 二... 年... 申...

右之報

所上... 所之... 子... 載... 道... 一... 年... 申...

十九日 寺院... 寺... 院... 出... 遊... 寺... 院... 出... 遊...

所軍... 遊... 所上... 居... 所... 出... 遊... 寺... 院... 出... 遊...

之令... 所上... 居... 所... 出... 遊... 寺... 院... 出... 遊...

杉平... 之... 獄... 掌... 遊... 所... 出... 遊... 寺... 院... 出... 遊...

之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...

出之田

日

日

日

日

右... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...

小倉

院寧寺

報生

院禪寺

富田

院中寺

三利

院學授

甲元

院惠林寺

○ 美光

出遊

寺... 院... 出... 遊... 寺... 院... 出... 遊...

寺... 院... 出... 遊... 寺... 院... 出... 遊...

右... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...

歌韻附

之夢初其不七幸焉之入以後之七來格別也南多牙
為夢其入之入古古古古古古古古古古古古古古古古
之入之入之入之入之入之入之入之入之入之入之入之入
古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古
古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古
古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

歌韻附

所軍艦

所落之格牙 所起形以海居之區分知形
方之何也 所起形之海居之區分知形
遠勢之入也格下後且又隣之入也何也限之別
候之數若也遠風海之格格身自形
所從泊也格也候之方之格也之格地也格也格也
在也格也海居之新之格也格也格也格也格也格也格也格也
格也格也格也格也格也格也格也格也格也格也格也格也格也
下之格也格也

右之報

所上信並如所叙海唇之既分叙行有之面
二、三、

出目付

所上信並如所叙海唇之既分叙行有之面
為代定返の家来子に治事為定夜に此紙締め格
別為定に此斗の格に候

右之報万石上出の面
之面

大目付

右平之報事、右平二百石の事、致家三石、出年
濫探録所、出形再備言、大坂に於て、致上、京、
為心、向、上、

出目付

右平之報事、右平二百石の事、致家三石、出年

後無法向う附使末に受取の函及下押の紙に
此を以て申上る候事候に付申上る候事候に付

上野 二十日。出立書 所上座書 若盛院校成雅齋

上野 若盛院校
有徳院校 所上座書
中野 若盛院校

出立元 所上座書

薄成下野

薄成下野 出立下野書
赤松在馬門尉

中保山崎子起書

出立書 赤松在馬門尉

中野 若盛院校

出立書 赤松在馬門尉

出立書 赤松在馬門尉

出立書

若盛 所上座書 所上座書

出立書 赤松在馬門尉

中野 若盛院校

出立書 赤松在馬門尉

中野 若盛院校

出立書 赤松在馬門尉

出立書 赤松在馬門尉

出立書 赤松在馬門尉

日 安_レ後_レ梅_レ花_レ

出_レ給_レ書_レ 以_レ中_レ多_レ之_レ申_レ

所_レ上_レ后_レ之_レ書_レ出_レ給_レ書_レ 作_レ付_レ書

出_レ自_レ付_レ書

教_レ盛_レ院_レ板_レ中_レ七_レ面 所_レ志_レ出_レ給_レ書_レ於_レ坊_レ寺_レ爲_レ照_レ院
從_レ松_レ平_レ延_レ子_レ轉_レり_レ者_レ之_レ百_レ年_レ來_レ月_レ三_レ日

乙_レ方_レ極_レ所_レ代_レ之_レ社_レ者_レり_レ出_レ番_レ真_レ出_レ後_レ之_レ

和_レ之_レ極_レ 天_レ璋_レ院_レ板_レ 澄_レ雅_レ之_レ板_レ 未_レ雅_レ之_レ板

晴_レ光_レ院_レ板_レ 致_レ順_レ院_レ板_レ 務_レ雅_レ之_レ板_レ 中_レ壽_レ院_レ板_レ

榮_レ人_レ之_レ名_レ番_レ真_レ出_レ後_レ 所_レ志_レ代_レ之_レ洋_レ札_レ者_レ之_レ白_レ事

三_レ日_レ出_レ自_レ付_レ書_レ出_レ用_レ取_レ板_レ 貴_レ身_レ浪_レ坐_レ有_レ意_レ者_レ出_レ用_レ取_レ

取_レ板_レ 所_レ上_レ后_レ出_レ番_レ書_レ出_レ取_レ編_レ之_レ合_レ 因_レ以_レ之_レ書_レ出_レ之_レ完

之_レ合_レ 因_レ以_レ之_レ書_レ出_レ番_レ入_レ當_レ之_レ及_レ之_レ合_レ 因_レ以_レ之_レ書_レ出_レ番_レ給_レ

出_レ自_レ浪_レ出_レ引_レ之_レ合_レ 因_レ以_レ之_レ書_レ出_レ番_レ後_レ人_レ之_レ多_レ之_レ合_レ

因_レ以_レ之_レ書_レ出_レ番_レ之_レ面_レ 因_レ以_レ之_レ書_レ出_レ番_レ之_レ面_レ

三ノノノノ

林内喜嘉始之地作秋上物之令。吾城子苗令網令

口内喜嘉始之地作秋上物之令。吾城子苗令網令

城令

杉沼山了哥

亦必出用之令。易躬出用取板指工取之

日 堀 了用

浪生之内首意之令出用躬池田所理中後取板指

了取

以目好

方今之時勢不屬之故。故之令。能取板指之令

所出出苗中。出取板指之令。取板指之令

出取板指之令。取板指之令。取板指之令

二夜若果在井之取。之令。之令。取板指之令

取板指

若之令。方之令。之令。取板指之令

大月好

若之令。方之令。之令。取板指之令

錄入之令。方之令。之令。取板指之令

所上落出無事一送入念松中一
各中付の事一出入者一各中付の事一
後松中一各中付の事一各中付の事一
中各中付の事一各中付の事一各中付の事一
各中付の事一各中付の事一各中付の事一
又各中付の事一各中付の事一各中付の事一
各中付の事一各中付の事一各中付の事一
各中付の事一各中付の事一各中付の事一

映自納

出軍艦

所上落出無事一送入念松中一
各中付の事一各中付の事一各中付の事一
各中付の事一各中付の事一各中付の事一
各中付の事一各中付の事一各中付の事一
各中付の事一各中付の事一各中付の事一

ニッパ

大自付

所上落出無事一送入念松中一
各中付の事一各中付の事一各中付の事一
各中付の事一各中付の事一各中付の事一

二月二十一日

大... 作... 所... 出...
及... 刻... 候... 候...
有... 候...

大目付

此度 所上落舟... 渡人馬多... 候... 候...
洋上... 候... 候...

所上落... 候... 候...

お願... 候... 候...

所上落... 候... 候...

所上落... 候... 候...

所上落... 候... 候...

所上落... 候...

一頁

所上落... 候... 候...

所上落... 候... 候...

所上落... 候... 候...

准后白
白銀拾枚

御堂

御太刀

御代金銀

親王

御太刀

御代金銀

准后白

御代金銀

白銀拾枚

御堂

御太刀

御代金銀

親王

御太刀

御代白銀

准后白

白銀拾枚

御代金銀
御太刀

太刀馬代金控枚

同 記控枚

白銀 控枚

同 控枚

同 控枚

同 控枚

如雲井細之
之控方在共面

同 白銀

侍奏

後奏

攝政親王

同 控方

云辨殿上人

同 白銀

記控方在共面

太刀馬代金控枚

同 白銀 控枚

白銀 控枚

同 控枚

同 控枚

同 控枚

記控方在共面

同 白銀

侍奏

後奏

攝政親王

云辨殿上人

同 白銀

松平宮堂

きりり代白銀控板

實白殿

白銀

傳奏入

白銀

減奏

白銀

押部置

白銀

今上御上人

白銀

白南内侍

〇移

御前

元月防ぎ敷出後迄流分多し訂

作出の身並多し任後いそ概引着ふ分於同の流

毎々の明後子旨朔申付夕七付の商取来迄臨

名目取附書付持来同不占出とて

意織未別着不致向を別着迄身引返日退候

前白出申付の上取同不占出とて

兵絨着月一疾具はむ代候故に取来申分迄用

一 此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

の事

一頁

一 此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

此の如く

此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

此の如く

此の如く一丁に二丁の年を以てして其の如く

此の如く

此の如く

○ 所長... 傳... 改... 二... 傳... 改... 布... 上... 所

增上寺

二十一日

出役書

棟梁... 分... 以... 所... 傳... 依

加布... 著... 人... 所... 上... 傳... 松... 平... 所... 傳... 依

所... 陸... 軍... 總... 裁... 主... 地... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

所... 免... 所... 上... 活... 言... 下... 給... 所... 免... 所... 上... 活... 言... 下...

山小納戸

山下式部

山崎彈正

小笠原中務

出陣曾我力之助

出陣山崎玄成

東藏之助

出陣山崎玄成

石川康之助

出陣山崎玄成

川路左衛門

出陣山崎玄成

新井玄孝

出陣山崎玄成

上原康成

出陣山崎玄成

海防左衛門

右衛門尉 桑名

山崎玄成

林左衛門

江戸幕府在場ノ組ニテ南ノ水飲ニ來

布衣

水谷 主水

窪田 邦七郎

戸田 八郎

杉平 所波

江戸幕府在場ノ組ニテ

内政ノ級有者ノ身陸軍編成ニ海軍方等
並ニ 所見ノ如ク 陸軍ニ登 城心附候
之等ニ之流事一ニ及ニ流小

大目付
水目付

今夜

江戸幕府在場ノ組ニテ及後候格ノ有者

所見ノ如ク 大坂伏見ノ京郭 所通リ筋有者

窓蓋等ノ及所見ノ如ク 幕府在場ノ組ニテ

大坂 市在城中 市井 商賈 亦在 市中 亦在 市中
清和 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中
市上 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中
亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中

但 市上 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中

亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中

右之 報亦 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中
市料 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中

亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中

市上 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中

市上 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中

亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中

市上 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中
亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中
亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中
亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中 亦在 市中

右の如く申上り候事
右の如く申上り候事
右の如く申上り候事

一 所立の如く申上り候事
高浪の如く申上り候事
面々の如く申上り候事

四月廿七

尚二月

所立の如く申上り候事
高浪の如く申上り候事
面々の如く申上り候事
右の如く申上り候事

右の如く申上り候事

四月廿七

一 所軍艦

所上落... 作出... 凡... 海... 須... 民... 右港... 印... 所... 所...

所... 所...

所... 所...

所軍艦

所上落... 所... 所... 所...

所... 所...

所上落... 所... 所... 所... 所...

毎箇村あり船二艘の公布意上二箇に山科程
延中より下は後為公向の事なり

出目付

松平町留守

陸軍總裁及海軍の方兼掌者 御免を蒙る

此書江東船の登 坂本一附の後を以て

流事一及お流る事 延中一

右におおきなる事 延中一

出目付

頃日 須田町中筋の夜分盗賊押込の又は世傳人

と申威全銀を奪取し荒し及新業の申おろす事

いふ事ありし事をお累申合ふ事と清事と論定

事いふ事ありし事をお累申合ふ事と清事と論定

亦敷らるる事ありし事と申す事

右の事申す事ありし事と申す事

右の事申す事ありし事と申す事

二月二日 臨時朝會 御法令。所上洛出先修

洋頒物 叙任一人 明書曾 所痛流由出治止

今已上刻出書 出所

入所日後所由書院出後先中出所松平隠及

始所之矣出修及又二條之取依之叙及之布及之

面到在 所後今書右者能以濟及之 所後及之

所任之書

去見

上書

文書院修

松平

老練

所書

所書

出所

松平隠及

右

所上洛之書出修之在叙及之 所自及

上意者之字之海能之

日

所書

水野和泉

日

所書

板倉周防

日

所書

田沼玄蕃

日

所書

福永多助

右同の身 所自見

上意者より平の海に

所 書院

出明織

林系武部大権

右同の身 所 下 在 織 口 身

上意者より海に 入 所 書院 出 織 口 身

羽目方より

所 上 意 者 之 出 織 口 身 入 所 書院 出 織 口 身

所 自 見 之 布 多 以 上 出 織 口 身 入 所

所 自 見

上 意 者 之 入 所

出 織 口 身

杉平 周 叟

右 意 者 之 出 織 口 身 入 所 書院 出 織 口 身

上 意 者 之 所 自 見

海 系 武 部 大 権

杉 平 周 叟

所 上 意 者 之 所 自 見 之 布 多 以 上 出 織 口 身 入 所

香島心人

代友

小 沼 三 郎

出 手 鑑 定 所

井 上 三 郎

明 治 時 代

杉 山 三 郎

廣 島 市

軍 艦 鑑 定 所

江 崎 三 郎

市 橋 三 郎

森 三 郎

出 手 鑑 定 所

香 島 心 人

出 手 鑑 定 所

小 沼 三 郎

半 人 指

杉 山 三 郎

香 島 心 人

廣 島 市 出 手 鑑 定 所

江 崎 三 郎

市 橋 三 郎

軍 艦 鑑 定 所

香 島 心 人

出 手 鑑 定 所

香 島 心 人
出 手 鑑 定 所
廣 島 市
江 崎 三 郎
市 橋 三 郎
軍 艦 鑑 定 所

香 島 心 人 出 手 鑑 定 所

廣 島 市

杉 山 三 郎

出 手 鑑 定 所

井 上 三 郎

明 治 時 代

杉 山 三 郎

廣 島 市

軍 艦 鑑 定 所

江 崎 三 郎

市 橋 三 郎

森 三 郎

香 島 心 人 出 手 鑑 定 所

自 光 十 七 日 出 手 鑑 定 所

今 川 三 郎

出 手 鑑 定 所

自 光 准 后

出 手 鑑 定 所

Handwritten notes in the top right margin, including names like 井ノ口 和久 (Inokuchi Wakahisa) and other illegible characters.

右の如き事 仰付

半人指
松島令之仰

出遊遊
本多之郎
徳之助

仰上様へ
仰下へ

一 御旨通り 為御意 建御意 三載 御出御 治世 御
二 御旨通り 御出御 是日 御出御 御府
三 御旨通り 御出御 是日 御出御 御府
御方 仰下へ 仰上様 仰下へ 仰上様 仰下へ

左の如き事 仰付
今期 御旨通り 御出御 是日 御出御 御府
仰下へ 仰上様 仰下へ 仰上様 仰下へ

是日 御出御
今期 御旨通り 御出御 是日 御出御 御府

右の如き事 仰付

仰使 仰出御 仰付

右の如き事 仰付 仰下へ 仰上様 仰下へ 仰上様 仰下へ

安否を在るに依りて

出自下

後

出藏年取借成海方打中の中を身向通り等類に

方入知るる意一接別借成多々之者之右割合

と云ふ布を致強深い志之之に極おる所程之在

之也

る候身七枚敷心廣紙を之の三丁年紙

の目の白紙を之の甲年紙

の目の白紙を之の甲年紙

右の紙を之の向度借成不致極上心掛り出藏

来取之向に之を草

出自下

今度

所書并多七の紙成不致極一併紙を身向通り

向に之の甲年紙を致す所程也

取入金之由一丁一葉上布を致し人等

一 治 綫音甲子文

一 宣 句 百千四文

在串右對指上三入牙

一 治 綫音甲子文

下三入牙

一 治 綫音甲子文

布袋と投付き月指針 綫音甲子文

右と左の紙高と出中 綫音甲子文

赤

字之区

字之区 図 級 下 級

場 右 字 以 控 信 持 持 級 令 控 度 度 級 令 控 度 度

一 上 治 綫音甲子文

句 道

場 右 字 以 控 信 持 持 級 令 控 度 度 級 令 控 度 度

一 上 治 綫音甲子文

平五日 批政後日完海府 市上活並南書也先

病免致仕家終 老免致仕家終給海府庇薩野

出返書 市以市免無任道 市上活府方應不

出返書及家終之弟海中心及出之日刻之地令

對出

市在周

于綱一書

杉平老書子

右白光。海府府 市自之

市上活書

市上活書

右於 市家書 作付

市上活書

市軍繼書

市上活書 市上活書

市上活書

市上活書 市免出苗書

對出

中源之元

奥面抄

伊东長之院

思召有之奥面所 所免山管結入之指

和洋伝書之書

山口若井亭

法元免

大目付

所上落舟万石下出港用掛之旨 且海濱往之
致之教員者之別紙日刻之東海乃中心乃出

之とて改め宿進人との候はるる澄文不承取別紙
書付一人の候はるる旨とて申上候はるる且宿馬
拂之舟馬代人は舟車之為附送之旨候はるる
之旨致し候はるる候はるる減省候はるる且
宿取出之旨とて申上候はるる限り候はるる不
承付一人の旨とて申上候はるる旨候はるる
之旨とて申上候はるる旨候はるる申上候はるる
細事申上候はるる旨候はるる旨候はるる

右之類乃在東海濱 所記之書皆在東海濱之面不
海濱之類也

四月十八日

出納院宛

二月朔日

言

同日
同日

漢武皇帝

横田書局

漢武皇帝

右之類乃在東海濱 所記之書皆在東海濱之面不
海濱之類也
同日
同日

同日

東海濱

出納院宛

出納院宛

中山道

中書院書院一組

田七日

東海

田例凡

坊時伊豫子

田小姓

桑儒者

狩野孫川院

田細文書院向

中山道

板谷桂意

桑坊主十人

田時斗坊主

桑六人組長十人

桑村組長及一組

林大學院院會

田八日
東海

出小納戸

要坊之組

要坊之二十人

去里間坊之

去去

要六人組

中山

川務丹波

同九日
弟海

出使要省分組

出使地方組

小十人組

出使要省分組

大目付

出使要省分組

出使要省分組

出指道切記

出庭敷

出揚物方目

出指道切記

出指道切記

出指道切記

芳合醫師

出敷醫師

出敷外科

出指道切記

中山道

神奈川切記

出先子組

出指道切記

同十日

出指道切記

田沼切記

山口信濃守

杉平往之房

栗田老孝組頭

田所附出掃澤若

栗田老孝

栗田老孝

所用評卷坊主

中山府

杉平甲次郎

牧時元色

栗田老孝

栗田老孝

子人久經在

目下白
与海后

出指路去配向片

出指路去配向片
出指路去配向片
出指路去配向片
出指路去配向片

一 内閣外務省事務

一 海防省事務

一 出馬館事務

一 陸軍省事務

一 海軍省事務

一 文部省事務

一 内閣事務

一 内閣

一 海防省

一 出馬館

一 陸軍省

林 大 学 院

大 自 分

出 勤 定 率

柳 東 院 正 序

横 田 中 弟 正 序

出 先 子

出 自 分

出 自 分 助

一 内閣事務

一 海防省事務

合字人
三

合字人
三
合字人
三
合字人
三

出使表

中書院表組法

宋性組法

出缺炮方

出流法

漢武出法

小十人法

漢武出法
附註

自設術師罷收

出納戶次

出納定吟集

出格考法

出小性組

出書院表

宋性組法

出納戶次

Handwritten notes in cursive script, consisting of six vertical columns of text.

Handwritten notes in cursive script, consisting of two vertical columns of text.

Handwritten notes in cursive script, consisting of two vertical columns of text.

出物法

出物方

出納

表出方

出方

出方

出方

出方

出細二法

目格

出納身証法

出納のきり証法

出納のしるし証法

出納のしるし証法

小十人組

小十人組

人
人
人

人
人
人

人
人
人

人
人
人

人
人
人

相
馬
堂
主
人
序

出
給
定
傳
書
後

出
給
定

日
格

出
給
自
付

皇
月
万
一
序

可
函

子
人
及

出
給
の
下
格
格

出
給
の
下
格

出
給
の
下
格

日
格
方

馬
合
函
師

出
給
函
師

出
給
函
師

出
給
函
師

人
人
人
人
人
人
人
人
人
人

出

出

出

出

出

出

出

出

出

出

出

出

出

出

出

出

人
の
ま
は
り

出格のしるし

漢武の勅書

出格紙片

同 洞紙

同 吟味紙

同 出格紙片

同 出酒紙

同 吟味方下紙

同 出格紙片

同 洞紙

同 出酒紙

同 吟味紙

同 出格紙片

同 出酒紙

同 吟味紙

同 出格紙片

一人
一

一人
一

一人
一

一人
一

一人
一

一人
一

一人
一

一人
一

出決地方あり

拂出後給り

江戸等

出流

出流

出流

出流

出流

出流

出流

出流

出流

出流

出流

出流

出流

二六〇
二六〇

二六〇
二六〇

二六〇
二六〇

二六〇
二六〇

二六〇
二六〇

二六〇
二六〇

田納戸向心

田徳田向心

田書院向心

田光寺向心

田法施方回心

田中
田中

田人向心

田松山向心

田三九

田中

田人

田中

田人

田中

田中

田中

田中

人
二十

人

人

人

人

人

人

人
二十
人
二十
人
二十
人
二十

人
二十
人
二十

人
一

人
一

人
一

人
一

人
一

人
一

人
一

人
一

人
一

人
一

人
一

人
一

人
一

人
一
人
一
人
一
人
一
人
一

今三人

右... 五千石... 三人減

大橋梁

津師前修師

山名之修師

山研師

山古山法他

源治

山指物師

山岩物方

計石取下布... 日 三人減

布... 日 三人減

右... 減方...

分... 減...

中...

二十日... 減...

榮... 藤...

市軍艦

市上落

和五郎
天津

鈴木

出役

作

中條

出納

作

右

廣三
中條

月

大砲

大砲

二十七日

市

市

中根

御軍機

御書

二十七日

御書

出使

御書

小堀元道

中興忠政 中多邦之助

松浦忠政 親為之助

村上水司

御書

牧中鑑之助

相地八平之助

御書

平岩七之助

中書院藏 安部隆之助

御書

門番中務

御書

大島三之助

御書

安部隆之助

右卷 御書 御書

御書 御書

三木伊勢守

御書 御書

出五

御書 御書

實

御書 御書

右卷 御書 御書 御書 御書

御書 御書

御書

御書

御書 御書

二十八月 月次 御書 御書

御書 御書 御書 御書

御書 御書 御書 御書

御書 御書 御書 御書

一 今已上列所表 出清月法 出乳水海

七 堀多敷

廣德寺 日光准后

右面月形所行結 出乳水海

二十日 月入法華寺 所行高

少 堀多敷

松平河波

右明日出三舟

所自之海

山 決地是候

日 入

右是之程 出乳水海

所行高

一 明平九日上候

文恭院極 所行月止 所上居 所發遠

大猷院極

巖首院極

浚明院極

文恭院極

所行高

為憲院極

省德院極

温恭院極

孝恭院極

御書指し紙御持立御書 任由

手書り入合アリ奉書

今日御書指し紙御持立御書 任由

二十九日 御書指し紙御持立御書 任由

氣明朝日足候 御書指し紙御持立御書 任由

御書指し紙御持立御書 任由

今日上野 御書指し紙御持立御書 任由

要由記

増事

御書指し紙御持立御書

御書指し紙御持立御書

御書指し紙御持立御書

御書指し紙御持立御書 任由

御書指し紙御持立御書 任由

大自付
世自付

御書指し紙御持立御書 任由

御書指し紙御持立御書 任由

御書指し紙御持立御書 任由

西曆一千九百零九年
五月廿九日

東京府立第一高等學校
校長 佐野 俊

東京府立第一高等學校
教員 佐野 俊

東京府立第一高等學校
學生 佐野 俊

東京府立第一高等學校
職員 佐野 俊

東京府立第一高等學校
庶務 佐野 俊

東京府立第一高等學校
圖書 佐野 俊

